

（午後1時00分 再開）

○議長（中西峰雄君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番4、12番 辻本君。

〔12番（辻本 勉君）登壇〕

○12番（辻本 勉君）ただ今、議長のお許しをいただきましたので、一般質問を行います。

今回の一般質問につきましては、昨年3月の定例会においてもやらせていただいたんですけども、たまたま過日、新聞報道がありましたので再度やらせていただきます。本市児童生徒の体力についてであります。昨年は学力と体力、両方出ていましたので両方やったんですけども、今回、体力テストの結果のほうしか確認できておりませんので、体力についてをやりたいと思います。

2009年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査、いわゆる全国体力テストの結果が過日発表されました。和歌山県内分の集計については県教委より2月3日に発表されましたが、小・中学校別、男女別、いずれも和歌山県は全国47都道府県中30から40台であります。本市の子どもたちはどうなっておるのでしょうか。県の状況はあるんですけども、本市のほうはちょっとわかりませんので、調査結果をお聞かせいただきたいと思います。

そして、今後分析をするとともに、何らかの対策が必要だと思われれます。市教委の考え方をお尋ねいたします。

まず、本市児童生徒の実態と問題点について。二つ目は、今後の対策についてということをお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君の一般質問に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（森本國昭君）登壇〕

○教育長（森本國昭君）辻本議員のご質問にお答えをいたします。

橋本市における平成21年度の児童生徒の体力・運動能力調査の結果は、残念ながら県下30市町村の中で、小学校は25位、中学校は24位という結果でございました。全国平均値を50とした場合の橋本市のスコアは、小学校で48.3、中学校で45.8で、昨年に比べ、小学校においては若干、1.6下がっており、中学校は横ばいという状況でございます。

種目別に見ますと、小学校では上体起こし、長座体前屈、50m走、ボール投げ、立ち幅跳びについてはほぼ全国平均並みで、握力、持久走、シャトルラン、反復横跳びに課題があります。また、中学校におきましては、長座体前屈、ボール投げだけは全国平均並みなのでございますが、その他の種目におきましては平均を下回っております。特に持久走、50m走は大きく平均値を下回るという結果になりました。

何を行うにも体力がベースになるだけに、小学校においては行動を調整する能力、さまざまな動作の習得を、また、中学校においては行動を持続する能力、粘り強さをつけておく必要があると言われております。このことを意識して、学校の教科体育の授業にこれらの運動を組み入れていくことが欠かせません。

分析によりますと、週に3日以上、また1日の運動実施時間が30分以上の集団ほど体力・運動能力に効果が現れることから、教科体育・保健体育の授業をより一層充実させることが必要になってまいります。これらのことを学校現場で意識して取り組むことが肝

要だと考えます。

加えて、幼稚園・保育所でも、小学校につながる運動（遊び）を意識して入れていくこと、いろいろな遊びに触れさせておくことも大切であるということ認識し、実践していくことが大切です。

さらに、健康三原則の面から、家庭や地域と連携しながら、バランスよく食事をとること、十分な睡眠時間を確保すること、身体を動かす機会を増やすこと等により、生活習慣の改善を図っていくことの大事さを伝えていくことも、あわせて大事だと考えております。

今後、小学校、中学校の体育連盟にも、この結果を受けて本市としてどう対応するか検討していくようにしたいと思っております。

具体的な取り組みとして、橋本市では平成21年度より、全国体力・運動能力、運動習慣等調査に基づく、子どもの体力向上支援事業を実施しております。平成21年度6月議会で予算を承認していただき、城山小学校児童や保護者を対象に、この事業を国の委託金で行っているところでございます。

この事業の概要は、学校における支援事業、地域と連帯した支援事業を考えて実施しています。昨年の7月に「橋本市体力向上地域協議会」を立ち上げ、橋本市教育委員会、体育指導委員、学校関係者、学校PTA、スポーツ少年団、和歌山県健康体育課の方を含め、24名でメニューを検討いたしました。

プログラムの内容は、体育用具を活用した外遊びや、普段から子どもたちで遊べる内容を紹介し、体験させることにより、運動することの楽しさを伝え、自ら運動に親しむ態度を養うことといたしました。

今年度実施しております概要ですが、低学年では、いろいろな遊びを通してさまざまな動きを覚えることで、運動に親しむ態度を育て、積極的に外遊びをし、体力の向上に努め、

大勢の仲間と遊ぶことによる協調性や思いやりや人と人とのかかわり合いを学ぶことを重視し、実施いたしました。

また、高学年におきましては、基本的な運動バランスを向上させるプログラムで運動時間を増やすことによって体力が向上し、さらには生活や食習慣の改善につながられるよう指導しております。

昨年11月29日には、城山小学校全児童とその保護者を対象に、プール学院大学子ども教育学科の安部恵子准教授の指導のもとに、保護者向けセミナーと親子でのニュースポーツを体験していただきました。終了時のアンケート調査では、とても参考になったという意見をいただきました。また、今後は子どもと一緒に運動したり、遊んだりするようになりたいという感想を述べられており、日頃から体を動かすことの重要性を認識していただけたと考えております。

事業終了後、この成果を有効に活用いたしまして、城山小学校だけでなく、今後市内の他の小学校13校へも広げまして、子どもの体力向上の充実につなげるよう努力してまいりますので、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君、再質問ありますか。

12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）いろいろ答弁いただいたんですが、昨年、私やらせていただいて答弁いただいたのとほぼ変わらないといいますが、国の支援事業がありまして、子ども体力向上支援事業ということで城山小学校でいろいろ実施をされたという、これは大変いいことだと思うんですけども、その他につきましては、昨年の答弁とほとんど変わりのない答弁をいただいております。

体力や学力状況調査の分析を各学校の代表者ととも進めており、中学校における課題

を小学校側で受けとめ、指導に生かしていくべく研究を進めておりますということなんですけども、この辺が、いろんな取り組みをされておるんかわかりませんが、実態は子どもたちの体力は今答弁ありましたとおり、小学生ではマイナスになっておる、中学生は横ばい。中学生はかなり悪いですね、もともとがね。悪いので、これ以上落ちようがないというところにあるのかなと思うんです。

昨年の2008年の状況では、かなり、小学生はまあまあ、女子と男子で28位と30位ぐらいですか。中学生はかなり、男子、女子四十何位、どちらかが46位ぐらいだったと思うんです。いろいろ取り組んでいただいております割には、全く橋本市の子どもたちの体力は向上してこないという、その辺はどこか問題があるのかなと思うんですけども、どういう分析をされて、もう1年以上になりますので、今回の結果については再度また分析をいただくんですけども、前回の分は、やはりきちっと分析をされておるのではないかなと思うんですけども、その辺、分析された結果といいますか、橋本市の子どもたちの体力はやはり劣っておるという実態をどのようにとらえて、どういう分析をされたのか、ちょっと答弁いただきたいんですけど。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（森本國昭君）今、議員ご指摘のように昨年度、20年度の結果も大変悪かったわけございまして、早速その現場の先生方、校長会等、県の健康体育課の指導主事も交えまして、いろいろ話し合いをし、指導していただいております。その結果、学校へもおろささせていただき、いろいろ取り組みもさせていただきました。

取り組みの内容としては、小体連の会長からのお話等を聞きましても、各学校では夏には水泳指導に十分取り組めて、全児童が泳げ

るように指導するとか、あるいは陸上記録会に向けてのいろいろな練習をする中で、そういう力をつけた。また、表現運動の指導ということで、ダンス講習もする中でも十分力をつけたように思う。それから、ロング休憩にマラソン、あるいは縄跳び等を取り入れて実施したようでございます。また、体育の授業の工夫改善にも取り組むために、研究授業をしながら先生方が取り組んだようでございますが、その取り組みをしてきましたが、21年度のこの体力向上に役立っていないということで、ただ首をかしげるばかりであるということをお聞きしておるわけなんですけども、今後どういうことをしていくべきなのかと。特に、小体連では握力あるいは持久走、ボール投げの向上をめざす必要がある。その3点が大変悪いということでございます。結局、現在取り組んでいる年間運動の目的をはっきりして、体力向上と目的意識を明示して取り組む必要があるのではないかとということをおっしゃいます。

教科体育も大変大事でございますが、結局、児童が運動や体育を好きになり、面白いと思える授業に工夫の改善が必要ではないかと。特に、運動が苦手な児童の学習意欲を高める手段としての友達とかかわりも、今後十分検討していく必要があるのではないかと。また、学習の目当てを設定する、それのできた、あるいはうまくいかなかったということがはっきりわかるようにして、結局、達成感を大いに味わわせるということをおっしゃる必要があるのではないかと。そのためには、学習カードを利用して、目標に向かって努力するように支援したり、評価する場を多く行い、学習カードの評価、その都度の声かけや励ましをしていくとか、そういう工夫をさらに充実していく必要があるのではないかと。

体育の時間の運動が、遊びの中でもできる運動を取り入れたり紹介したりするということが大事で、また、一番の大事な年間の指導計画を見直す必要があるなど。早速21年度の結果を見まして、こういう考察をしていただいております。今後、城山小学校で今年度実施したわけですが、その成果も上がっておりますので、また後でその成果を発表させていただきます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）私は、順位は別に問題はないと思うんです。順位が何位であろうが、日本の子どもたちの体力が向上、全体的にレベルアップすればいいので、それからいくと順位はまあまあというか、問題にしてないんですが、小学生、点数がやはりマイナスになっているというのが、ちょっとやっぱり問題があるのかなと。全体がレベルアップして順位が下がっても僕は問題ないと思うんですけども、点数自体が下がっておるとするのは、やはり、この辺はきちっとらまえて対策を練っていかなとだめではないかなと思いますので、その辺は十分お願いしておきたいと思えます。

それと、この結果なんですけども、前回のときもちょっとお話をさせてもらったんですけども、学力調査があつて、これの公表というのは大変いろんな問題があるのかなと思うんですけども、体力テストの結果については、これは公表しても僕はいいのではないかなというお話を、前回、昨年3月にもさせてもらったんです。やはり地域みんな、橋本市の地域も家庭も学校も含めて子どもたちの体力をつけていく、子どもたちに健康な体を持ってもらうように努力していくというのは大変大事なことなので、やはりこの体力テストの結果を教育委員会として市民に知らしめるというか、公表するとかというお考えはないん

でしょうか。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（森本國昭君）体力テストというのは何をやるにしても基本でございまして、やはり体力の点については、学校別に公表しても別に差し支えないのではないかと。それこそ、地域の方々とも協力をしていただきながら、体力を向上していくのが大事ですので、それは公表してもいいと私は感じております。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）少子化になってきて、むちゃくちゃな小規模校になりますと、その子どもが限定されますので難しい点があるかなと思うんですけども、橋本市はそういう実態ではないので、ぜひとも公表していただいて、やはり橋本市の子どもたちの劣っているところ、体力的に劣っているところを、みんなで努力して向上させていくということにつながりますので、ぜひともお願いしたいと思います。

それと、対策のほうなんですけども、これ、県教委も今後分析するとか、いつも言うておるんですけども、今後分析する必要があるということで、これ、昨年書いてました。今後分析する必要があるということでね。いつでもこれ、分析する必要があるんやけど、なかなか分析せえへんというのは行政の悪いところなので、本市だけでもきちっと分析をしていただいて、取り組んでいただきたいと思うんですけども、これ、県教委のほうは、2008年から13の小学校に校庭の芝生化事業というのをやっているんですね。これ、同僚議員がいつも質問をしていただいておりますけども、この2009年の結果を受けて、県は2010年度に6校程度増やしたいということを言うておるんです。教員向けの研修とかね。この芝生化事業を県の予算でやられるのであれば、橋本市も何らかの形で試験的に、橋本市の子

どもたちは県下でも体力的に悪いと。24位、25位なので、特にやっぱり力を入れていただくというか、県教委にも力を入れていただいて、橋本市にもそういう芝生化事業によって一つでも試験的に小学校に芝生化事業をやっていただけるかどうか。これは強く県に対して求めていっていただきたいんですけども、教育長。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（森本國昭君）以前、議員からもそういうご指摘ございまして、研究するというところで終わったと思うんですけども、私もその質問あるときに、根来小学校がそういうことをしておりまして、次長と根来小学校に見に行ったんですけども、根来小学校は運動場が二つありまして、うちの地域は健全育成の少年野球をされておるのが多くて、運動場がほとんど使っておられる。これで芝生をすれば、少年野球は軟球では大変無理やということも聞いておりまして、根来小学校は運動場が二つあるので、それは弊害がないんだということもあって、それは少年野球もできるということでした。

そういうこともあって、いろいろ研究するというところで終わっておるんですが、運動場全体にしなくて、庭にでもそういうことをすることは可能ではないかなということをお考えしておるんですが、そこへちょっと運動場をすべて芝生にするということは、健全育成でいろいろ少年野球等していただいている方もございますので、そこらがどうかなということを感じるわけでございます。芝生にすれば、いろいろ運動場で遊ぶ子どもが増えたり、そういうのは確かにあると。確かにそういうことも聞いております。そこら辺、すべてがうまくいったらそれでいいわけですが、そこら辺がちょっと考える余地ございますので、一校でもということでございますけれども、一

度、再度そこら辺を研究させていただきます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）いろいろ意見はあると思うんです。芝生にしてどうのこうのとかが、いろいろあると思うんですけども、やはり県もそういう形で、和歌山県内の子どもたちの体力の状況を考えた中で、芝生化事業に取り組んでおることなので、橋本市はやはり特に県下の中でも悪いということなので、いいことはどんどん取り入れた中でやっていけるように、予算、大変厳しい財政状況なのであれなんですけども、これは県の教育委員会が言うてることだったら県の予算が多分つくだろうと思うので、その辺も含めてぜひとも研究いただいて、橋本市に一校でもそういう形をとってもらえたら一番ありがたいなと思っています。

維持管理の問題とか、いろいろ費用がかかるというか、芝生になりますとかかかると思うんですけども、その辺につきましては、やはり地域の皆でやっていくと。ボランティアで維持管理はやっていくんやと。地域の学校ということでボランティアでお願いしてもいいですし、その辺も含めて一度早急に検討いただいて、県のほうに要望をいただきたいなと思います。

それと、今回、学力は出してないんですけども、去年のデータからいきますと、やっぱり体力と学力というのは比例しているんですね。上位の学校というのは、ほとんどが体力も学力も上位ということになってますので、下位の学校はどちらも下位ということなので、やはり体力というか、体が資本やと思いますので、やはり体力をつけるためにいろんな方策をとっていただきたいなと思うんです。

何で橋本市の子どもたちが体力テストで悪いのかというのは、本当に先ほど教育長も効果が出て来んということで悩んでいるという

話もあったんですけども、ほんまに不思議なので、もう少し真剣に分析をしていただいて、お願いしたいと思います。

特に、我々の小さい時分といいますか、以前はやはり健康な体がまず第一やということで、僕らも小さいうちは、もの言うたら、健全な精神は健全な体に宿るといのか、健康な体に宿るといということで、まず体をちゃんとしよう、そのためには基本的な生活習慣をきちっと身に付けて、そんな中で体力をつけていくという、そういうことなので、学力偏重といいますか、そういう時代になる中で、もう一度、体というか健康を見直して、子どもたちに本当にきちとした体力をつけていただいて、そんな中で健全な精神を養っていくほうが一番いいんかと思いますので、きちっと分析していただいて、先ほど城山小学校のええ例が出てきましたので、これは大変すばらしいことだと思います。教育長は市内全域に広げていきたいということなんですけども、そしたらこの事業、22年度で具体的な実施をする予定といいますか、その辺はおありかどうかお聞かせください。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（森本國昭君）今年度実施させていただきます、いろいろな成果が上がっております。この21年度の学力、体力の調査をやりまして、その後、結果が出ました。その後、城山小学校もいろいろなイベントを行いまして、体力テストを実施しております。その結果、5月はこの検査を行ったわけですが、1月に城山小学校だけが体力検査を実施しまして、結果、全国平均を超えた種目、1回目と2回目と比べますと城山小男子が6種目、全国平均を超えました。3種目が全国平均を超えておったんですけども、3種目をプラスして6種目が全国平均を超えました。女子も6種目全国平均を超えたということで、やは

り大変効果が上がっております。

いろいろ結果が出ておりますので、また、先ほど言わせていただきました親子のセミナーも、やはり意識改革をさらに進める意味で大変良かったということを聞いておりますので、この城山小学校で実施した事業を、来年はもちろんもう一度城山小、そしてほかの学校へもさらに進めていきたいと、そういうふうに考えております。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）ありがとうございます。

市長の政策で、福祉と教育という大きな二本柱を立てておられるので、特に教育というのは、次代の橋本市を担う青少年の育成といえますか、担う人を育てることなので、大変大事なことなので、こういういいことがあって、事業をやっていただいて成果が上がっているのであれば、どんどん予算を計上していただいて、ぜひとも取り組んで頑張ってくださいますようお願いいたしまして、終わりたいと思います。

○議長（中西峰雄君）これをもって12番 辻本君の一般質問は終わりました。